

第3回 滋賀県社会教育委員会議における会議概要

期日：平成23年7月16日(土)

場所：滋賀県大津市立堅田小学校

1 開 会

日程説明

2 内 容

- (1) 学校支援に係る取組活動の見学について
- (2) 学校支援に係る取組活動についての協議について
- (3) その他

3 閉 会

<出席委員（五十音順）>

今居委員、宇川委員、他谷委員、山口委員

<出席者>

松田 直樹（「堅小 おや連！」会長）、伊藤美佐子（大津市立堅田小学校長）、
伊庭 郁夫（大津市立堅田小学校教頭）、阪田有実子（大津市立堅田小学校教頭）

今居 滋賀県社会教育委員 副委員長挨拶

大変暑い中ごくろうさまです。第3回の社会教育委員会議を今日はこちらの会場をお借りしました。堅田小学校の関係者の皆さん本当にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。県の社会教育委員と言いますのは、県民の皆さまの生涯学習・社会教育をいかに推進していくかということについて、いろいろと話をさせていただき、県からの諮問を受け答申や提言をまとめたりしております。去年度からになりますが、社会教育委員会議の方では、「園・学校を拠点とした地域づくり」のために、子どもの教育支援の在り方をどのようにすれば良いかを勉強させていただいているところでございます。これにつきましては、アンケートを県下の全部の学校・園に出しまして、先程も事務局からありましたとおり、堅田小学校では素晴らしい御取組をされているということで、今回見学に寄せていただいたという次第でございます。

暑い中、お父さんや「おや連」の方々が、取り組みをされ、子ども達がお箸づくりやいろいろな物を作っておられる姿は素晴らしい取組だと思いました。

私は、公民館とりわけ県公民館連合協議会から社会教育委員をさせてもらっているのですが、社会教育委員さんというのは、労働福祉関係の方とか図書館の方とか、NPOの方などいろいろな方面の方がございます。私は、教育は人にありと申しますが、学校の教師でありまして、新卒がここの葛川小学校でしたので、懐かしく思っております。地元でございましたので誰か知っている人はいないかと思って寄せていただきました。村田さんとかの素晴らしい先



輩がおられて今があると思うんです。

今日は、気楽にお話しをさせていただきたいと思います。松田さんをはじめ堅田小学校の皆さんどうか宜しくお願い致します。

＜日程の説明＞事務局

○本日の日程について

お手元のレジメ【資料1】ですが、滋賀県社会教育委員会では、「園・学校を拠点とした地域連携による生涯学習の環境づくり」というテーマで研究・調査をさせていただいております。1ページになりますが、2月初旬から中期にかけてアンケートを実施させていただきました。県内全ての園・小中学校を対象にして行っております。なお、調査項目については、2ページでございます。



その結果を受けて、3月に第二回の滋賀県社会教育委員会を実施し、委員の皆さまからご意見を頂戴したところでございます。ここでのご意見を参考にさせていただいて、第2次アンケートをさせていただきました。1次アンケートで自主的に組織したグループや団体が「ない」としたものについて調査をしないのかというものがありましたので、3ページの上になっておりますが、調査をさせていただきました結果、「支援を受けなくても教育活動ができています」が5校、支援をお願いすると今以上に負担が増える」という回答が4校でございました。その学校さんにつきましては、10月ぐらいを目途に事務局から詳細についてお聞きしたいと思うのがAグループ。そして、Bグループとして、顕著な特色ある活動をした学校さんが(1)で、(2)は「支援・依頼の双方向でコーディネーターさんがおられる」という学校さんを(2)にしております。

今回お邪魔させていただきました堅田小学校さんは、Bグループ(1)に入っておられ、「特色ある活動」をしておられる。私どもの方へ堅田小学校さんからいただきました調査用紙をまとめさせていただいたものが4ページになっておりまして、資料の2になります。それで、当日の日程の次のページにその内容をまとめさせていただいております。

特に、見学・ヒアリング内容のポイントですが、そこに書かさせていただきました。他の学校さんと違うのは、「たちあげのきっかけ」が、太枠を囲っている部分が非常に面白いのと、「おとうさんクラブ準備検討会」を経てから「おや連！」を発足しておられるという部分です。「特色ある活動」で、「できる人が できる時に できることを」モットーにして活動しておられる。下から二つめの「今後の取組」で、2行目にアンダーラインをいれましたが、学校以外の地域活動やまちづくり活動、学校活動を拠点としてまちづくり活動まで参画する等々、また地域貢献までする働きがあるということが、大変面白い活動かと思っております。5ページの一番下に特徴と書きましたとおり、「学校支援が地域活動やまちづくりへ」と「PTA等の別団体との連携」をうまくやっておられるということで、非常に勉強をさせていただけるのかと思っております、場の設定をさせていただきました。



本日の日程になりますが、10:35ぐらいまで「流しそうめん」の準備等々の様子について見学をしていただき、その後この場所にお戻りいただき、そして校長先生・教頭先生そして「おや連」会長さんにも取組についていろいろお聞きしたいと考えております。11:30

ぐらいを最終にしたいと思います。なお、6ページの資料3でございますが、委員の皆さま方から事前に頂戴しました質問内容に事務局の方で追加をして掲載しました。本日、事前に御説明の中で御回答があるものと存じます。

本日、非常に限られた時間となりますが、有意義な時間が過ごせればというふうに思っております。



【堅田小学校】

○自己紹介

今日のご遠方より本校にお越しくござりありがとうございます。明治5年に学制がひかれてから本校が立ち上がっておりまして、堅田というまちは、歴史のあるまちでございます。今日は、また「おや連」の取組を見ていただき、子どもや保護の関わりの様子を見ていただけたらと思います。校長の伊藤美佐子と申します。どうか宜しくお願いします。

【堅田小学校】

教頭の伊庭と申しあげます。連絡が2つございます。1点目は、松田会長と連絡が取れまして、今から5分以内に竹を切り終えるので、もう少しお待ちくださいとのことでした。もう1点は、私も派遣社会教育主事の仕事をしております、社会教育委員会会長と北海道に全国大会とかで行った懐かしい思い出がございます。大変勉強をさせていただきました。宜しくお願い致します。



【堅田小学校】

本日はお忙しい中、おいでいただきまして有り難うございます。本校、大規模校ということで二人教頭となっております、阪田有実子と申します。本日は宜しくお願いします。

会議の概要

(1) 学校支援に係る取組活動の見学について



「堅小 おや連！」さんが、地域住民等の参加を依頼し、1人200円の参加費用で「流しそうめん」を実施された。早朝より役員が竹を伐採され、参加者が協力して竹を割って、そうめん流し台、お椀、箸を作成した。





(2) 学校支援に係る取組活動についての協議について

【事務局】

竹をあのようにして割り、あのような音がするのが非常に印象に残りました。今日の研修会の意見交換、感想交換を含めましての会議を進めて参りたいと思います。ここからの司会は、今居副委員長さまの方でお願いしたいと思います。

【副委員長】

早速ではございますが、松田さんの方から堅田小学校の「おや連！」のお取組について説明を宜しくお願い致します。

【堅田小学校】

暑い中、長時間お待ちいただきお詫び申し上げます。本日は堅田小学校の「おや連！」の活動について説明をさせていただきます。誠に恐縮ですが、我々の活動内容が、何かの参考になればと思っております。

以前2回アンケートで回答をさせていただいているのですが、立ち上げてから6年目を迎えます。平成18年に「おや連！」を立ち上げようではないかという準備委員会を経まして進んだ訳です。この立ち上げ話は、PTAの役員をされていた会長さんや副会長さん等、男性の役員さんの方からでてきました。どうも小学校PTAは、お父さん方も力をもっておられるにも関わらず不参加者が多いことが残念なことです。何とか、学校に貢献できることはないかという思いをお持ちの方はたくさんおられるはずだと思いましたが、こういう方の力を引き出すことや、担ぎ上げることはできないかという思いからPTA役員というお忙しい仕事までは無理かもしれませんが、立ち上げることにしました。また、女性ばかりのPTA組織ばかりでなく、おやじの活躍する場である「おとうさんクラブ」のようなものを立ち上げればどうかということがきっかけです。

こういう思いに対してのニーズを調査する必要から、当時、全校児童の保護者にアンケートの調査をさせていただきました。

お父さん方で「おやじの会」を立ち上げた時に参加していただけますかとか、「こういう形ならば参加できますか」という形でアンケートを取りまして、お父さんも頑張っている姿を見せたいという意見がありました。一方、PTAの役員さんにかえて負担をかけるんじゃない



かという思いの意見もございまして、プラスの意見もマイナスの意見もある中で、どういう形でなら発足できるか苦慮していました。そうした中、私たちがキャッチコピーで使っています、「できる人が できる時に できることを」を使おうじゃないかと決まりました。正式なPTA活動ですと型苦しいこともあるのですが、いろんな事業計画に縛られるのじゃなく、参加できる時だけ参加しようというように気楽な気持ちで入ってもらおうということの考え方が、アンケートから分かりました。名称でも、堅田が湖族と言っていることもあり「湖族」を活用する動きもありましたが、最終的には「おや連！」に落ち着きました。

「おとうさんクラブ」という名称だとお母さん方が入り難いので、お母さん方も一緒に入ってやっていきたいと思いますということで「おや連！」という組織ができました。

グループの立ち上げ当時、PTA男性役員さんからの話ということですが、先程も入口に立ち上げの発起人の方がいらしておられました。県の職員さんですが、当時、PTAの役員をしてくださいまして、活動にも詳しいとのこと、そういう声を上げていただいたというのが実直なところ。どこかにコーディネーターが居たという訳ではなく、たまたまPTAの役員に現職の方がおられたということです。このような青少年局に携わっていただいたキーマンが居てくださり、みんなが賛同して集まって現在も続いているという状況であります。

私も公務員で、なかなか地域の活動に参加できていないのですが、何か仕事で活かせることがあればと思っています。以前、瀬田に住んでいて引っ越してきました。せっかく堅田に住まわせていただけていますが、妻は、地域の友達が周りにはいるものの、自分は、知り合いも誰もいないし、近所でも知り合いもない状態でした。PTA参観や総会等がございました時に参加する程度で、子どもの行事も把握していなかったのですけれども、こういう活動をしておられるというアンケートを見て、1年目は仕事の関係で参加できなかったのですけれども、2年目から私も入らせていただき、5年目からは事務局を預からさせていただきます。

特色としましては、小学校の子どもさんが卒業されても現在でもメンバーとして残っていただけるのが大きな特色なのかと思います。それらの方々も、最初はPTA役員を経験された方が多く、活動に理解があり、積極的ということもなのですけれども、大津市子ども会育成連合会（子市連）、子ども安全リーダーさんにも引き続き活動に根をおろしていただき、また、現役世代の小学生の保護者の加入ということで、この組織自体が現在14～17・18名となっており、小学生の在校生の居る親御さんがおられる方が半分、OBの方半分という状況です。会則・規約等、何も設けておりません。今日参加しているのは、10名です、フルに全員が揃うということがないのですが、できる範囲内で参加いただくということになっております。

○活動内容

平成18年（2006年）からは、希望者の参加で正門のペンキが錆びていたのでペンキ塗りをしました。また、当時の校長先生のご助言や学校の要望もありまして、グラウンドの隅にある、木の遊具づくりをしました。間伐材をもらってくるので、手伝って欲しいとのスタンスで、木の遊具づくりをしました。

堅田小学校PTA主催の「わいわい祭り」が11月にあるんですが、初年度18年度には1ブース、1コーナーを担い、キャンドルづくりを廃食油を使って行うコーナーとしました。また、学校以外の活動としましては、堅田学区の「湖族まつり」の翌日にあります自治会対抗「湖族船競漕」の方にも勢い余って出ようではないかということで、一般の部でオープン参加をさせていただきました。「湖族船競漕」では、小学校の先生チーム、中学校の先生チームなども出場する中、「おや連！」も出ると名前をアナウンスしてもらえるとということで、名前を売り込む良い機会であると思い参加しました。そのへんを1年目にさせてもらい、2年目以降に「流しそうめん」を始めました。「流しそうめん」をしたら、みんなでわいわいできておもしろいのではとの意見からでした。2年目から今年で5年目となり定番行事になっております。定番行事を続けることによって、「おや連！」の認識も実績も積み上げることができたのだと思います。毎年、同じ時期に活動をしますので、この時期にはこれをするんだという「おや連！」の会員の参加も地

域の小学生の参加も定着し、また、楽しみにしていただいているのではないかと勝手に思っております。その他、PTAの「わいわい祭り」のお化け屋敷をしてみようということで、多目的教室の2つの部屋を暗くするためにめばりし、手作りお化けで子どもを驚かせております。この事業は2年前から行っており、人気があり、2階の部屋から1階の部屋までずっと行列ができるほど子どもたちは楽しみにしている事業となっています。すごい手応えがあり、子どもたちは楽しみにしています。過去に折角並んだ低学年の子どもがやっと入れるという時に、会場の暗幕を開けた瞬間に怖くて帰ってしまったことがあるんです。2年目以降は、6年生の子が、中学生になって、「おや連！」の関係の子どもが中心に友達を誘って手伝いに来てくれることがありました。

学校の行事の中でも、子どもたちはお化け屋敷をやり出しました。また、お化け屋敷の会場で、「わいわい祭り」の前日に、作った覚えのないお化けが会場に転がっていたことがありました。自分たちが作ったお化けより上手やないかと思っていたら、これが子どもたちが作ったお化けやったということがありました。

立ち上げ2年目、堅田の町内は古い歴史のあるまちで、自治連合会さんとタイアップして、「堅田まち歩きウォッチング」を実施させていただきました。小学校の前にヴォーリズ建築の堅田教会があり、また、近くに東洋紡の立派な会社があったりします。東洋紡の外側の道のぐるりは回って知っておりますが、中は入ったことがないということで、中を見学させていただいております。その他、酒屋、造船場、居初氏庭園「天然図画亭」など堅田の町歴史を知ってもらいながら、堅田の町ってすごいやんと認識してもらおうとする行事をタイアップ事業として行っております。

毎年やっていることは、「そうめん流し」「湖族船に出ること」「わいわい祭りのお化け屋敷にでること」で、その他に「ペンキ塗り」をする年であったり、「スポーツ教室」をする年があったりします。昨年度につきましては、3月なんですけれどもランドセルを集めてアフガニスタンに送ろうと呼びかけました。これは、『思い出のランドセルギフト』というNGOが取り組んでおられる事業に乗っかっていこうじゃないかということで、チラシを配布したのが3月11日です。大震災が起こった日なんですけど、その日に案内をさせていただき、集まらなくても良い、そういう運動があることを知ってもらうだけで良いということで進めました。この事業の内容は、6年生だけにお願いしたことで、ランドセルをもしお家で眠らせることになるようなら、また譲っても良いということがあればお預かりさせていただきたいということで、モデル的に始めました。思った以上のランドセルが30ヶ程集まりました。現在保管中で、まだお渡しできていないんですが、1月に輸送費を助けてもらうためにランドセルの会社を経由して送ってみたいと思っております。これを昨年度末に行いましたが、輸送費がかかってくることも含めて、個人でもそういうことができるんですよという啓発で良いのではないかなど協議しながら進めていこうかと思っております。もうひとつ昨年度やりました事業ですが、どの地域でもやっているところが多いのですが、PTAさんが飛び出し人形で交通事故の防止をしていただいているのですが、堅田小学校におきましてもPTA補導委員会の方が、点検や交換・設置の取組をしていただいております。「おや連！」としては、足型マークというのを道路にペイントスプレーを使ってペイントし、注意喚起ができないものかということで、昨年度末3月に行ったところです。近くだと、小学校の正門の前の横断歩道の前に2ヶ所あります。足型の木枠をくり抜いて。「右、左」とか標語を入れて、注意を促すようにしていました。さらに、幼稚園前とか通学路の危険箇所と思われる場所にペイントさせていただいたところです。

主な活動はだいたいそのようなことで、年3回～4回ぐらいの活動をずっと定期的に続けてきて6年目を迎えております。

【副委員長】

ありがとうございました。最初は、子どもたちのために学校のためにとという形で、いろいろやられたようですけれども、そのうち「おや連」の皆さんは楽しんでおられるなあと思います。自分が楽しむだけでなく地域の活性化につながっているし、素晴らしいなあと聞かせていただいた訳です。本日この会場にお集まりの社会教育委員の方で御質問がございましたらお出し

ください。

【委員】

感想も含めて述べますと、「それこそ、みんなで力を合わせないと食べられないんですよ」という話がすごく印象的で、私たちもするんですが、それこそ小さい子なんで、前から切っけて置いて、そこで食べる体験だったのです。だからこそ今回、竹を割ることから始めることにすごく興味があったのです。力で割っていく姿とか、節をダイナミックに取っていく姿など、体験を積み重ねられたお父さんの姿が見れるのはすごいなと思いました。その他、「できる人ができる時に」ということですが、例えばリーダーシップは、それぞれの行事で決まっていくのでしょうか。車や氷の手配などはどうしておられるのかお聞きしたいと思います。

【堅田小学校】

今日持って来た氷は、そうめんを締めるのに使う氷なのですが、地域の魚を扱われる御屋さんに助けていただきました。同じ保護者ですので、氷を頂戴ということでお願いしたところ、地域のことなら良いよということで助けてもらっています。幸いにして、この地域は街と村が一体となっていますので、多分いろんな人材が埋もれているんだろうなという風に感じます。竹を持って来るにしても車が要りますよね。たまたま車の板金屋さんの仕事をしておられる方がいらっしゃるということで、今回はお願いしました。もし、〇〇貸してということがあれば仲間うちで捜しています。

【委員】

P T Aの組織もあり、こちらの団体もある。関係はどのようなのですか。P T AはP T Aの行事がある訳ですよ。



【堅田小学校】

P T Aも大きい行事をしていただいております。グラウンドを一杯使った「わいわい祭」や、今年は実施していないのですが、デイキャンプといって、葛川へ300名の子どもと保護者が行って、チームを組んで、自然体験をしたり、そういうような取組をP T Aでもらっています。



【委員】

そういう時のお手伝いはあるのですか。

【堅田小学校】

特には求められていないんですけども、「わいわい祭り」のボランティアで何かお願いしますということがあれば、個人的な参加とさせていただきます。

「おや連」とP T Aとの会議は、同一日に並行して行っていただいております、2階でP T Aが、3階で「おや連」さんが会議をしていただいております。

【堅田小学校】

定期会議は、P T Aが会議をされている時に別の部屋をお借りし、同じ時間帯に打ち合わせをしております。

【委員】

同じ日に会議をされることは、学校に負担をかけてはいけないという熱い思いだけなのでしょうか。

【堅田小学校】

平日の夜に会議はありますので、そういう思いです。

【副委員長】

会員さんで、現役の方も半分おられるということですが、PTAの役員会とだぶっておられるとのことでしょうか。

【堅田小学校】

今は、役員をしている現役の人はいません。昔は兼ねてという人もおられましたが、今はありません。

【委員】

素晴らしい取組だと感心させていただきました。私の住んでいる所も手を換え品を換えてやってくくださるんですけども、あれだけの子どもが集まってくるの要因は、家族揃って参加されるということなのではないでしょうか。子どもだけで行きなさいというパターンではなくて、家族が揃って参加されているのは、子どもたちをたくさん集める要因なのかなと思います。また、学校の協力というものもやっぱりすごいんだなあと思っています。正直な話、私の夫も教員ですが、土・日もいっこうに家に居ません。私の家はどうか心配しています。夫は、仕事場がある地域のことを一生懸命にはしますが、自分の住んでいるところのことは全然知らないという状態です。永年、このままの状態なのが現状です。今回、学校が会場というだけで、子ども達が集まることはすごいなあ思ったのです。私の住んでいる地域の役員の方が公民館やセンターで活動をされているのですが、ここまで子どもは集まらないと思っております。会場が、学校ということで、親も安心して子どもだけでも送り出します。子どもの登下校のルートが決まっていますので、いつもと違う場所であったら、送って行ったり迎えに行ったりしなくてははいけません。学校が舞台になるということは本当に理想的なことなんだけれども、校長先生や教頭先生も出勤し学校へ来て管理しなければならないという状態があります。地域の親御さんがそういう風に一生懸命されることで、学校も助かっていることがすごくあると思いますし、そのことは先生方も痛感されておられることだと思います。しかし、親の立場としたら、学校に日曜開けていただけますかとは言えませんし、断られてやっぱりそうやなと思うのです。そういう学校がどちらかと言うと多いのじゃないかと思うのですが、そこらへんも含めて学校の先生に聞いてみたいのですが。



【堅田小学校】

本当に堅田は地域と学校が密着していますね。いろんな地域の会議に行かせていただいてもどんな場所でも小学校・中学校も一言ずつ御挨拶をさせていただくことをするんですね。学校の様子も伝えられますし、また、地域の方々は、学校を本当に大事にしてくくださるので、学校というのは地域の宝という言葉で表現してくくださるのです。そういった、地域の方々の思いにも学校として応えていきたいし、良い関係というものができているような気がします。私たち、その地域のいろいろな会議に出させていただく訳ですけども、私たちも楽しみながら参加させてもらっているところがあります。

それぞれ、ネットワークとか忌憚のない意見とか自分たちの思いで、いろいろな役に関わらせてくださるので、そういう方々とつながっていくと、私たちも安心です。本当に良くがんばってくださるなということ、熱い思いを感じる場所です。本当に感謝しているところ

【副委員長】

学校の先生の協力がなかったら、こういうこともし難いし、その点この小学校は素晴らしい先生だろうと感じさせていただきました。

【委員】

私は、子育ては随分前に終わっているのですけれども、子どもが小学校の頃は、子ども会のことやったり、勿論PTAの役もやっております、いろんな活動をさせていただきました。補導委員とかもさせていただいたのですが、ここに来て見させていただいて、私たちの子どもたちの頃と違って、おとうさんが育児とかに参加しようとする意識を持っておられる方が、たくさん集まっておられることにびっくりしました。PTAは女性が主体にやっていたように思います。PTAの中にクラブもあったんですが、それも女性ばかりで、お父さんとのつながりが取れなかったように思っております。お父さんの力強い姿とかを子ども達が見たら、尊敬の念などが違ってたんじゃないかなと思っております。最近、育児にお父さんが関わることがすごく良いことだと思いますし、子どもたちの成長にもプラスになることだと思います。私は、新興住宅と古い地区とが一緒になったまちに住んでいて堅田と同じです。古いまちの方たちが非常に快く新しい私達をすっと受け入れてくださいました。学校も農業体験など、苗から植えて、稲刈りまで体験させていただくということも地域の協力でさせていただいております。今、食育と言われていますが、随分前から菜の花作りの指導などもやってくださっており、地域と学校との関わりが本当に大事となっております。



今まで、堅田小学校もそうなんですけれども、子どもを学校に入れたら学校に任せっきりのお父さん・お母さんが多いのじゃないかなと、私の子どもを見ていてそう思うのです。そういうところで引っ張っていただけるリーダー的な方をどういう風に発掘すれば良いのかが課題と思います。発掘作業ですね。良い方法があれば、是非教えていただきたいと思いました。

【副委員長】

ありがとうございました。今は、ご自身のご経験からお話しをいただきました。教育というのは人と申しますので、ここも松田さんとか村田さんとか素晴らしい先輩が、今のPTAの方からすれば、先輩がおられて今があるんだと思うんです。人材育成は、いつの時代も大変なことだと思っています。時間の方もこの後「流しそうめん」のことが皆さん気になっておられるでしょうから、ここら辺にしたいと思います。

事務局の方から特に何か質問があれば、課長さん、終わりに挨拶も含めてお願い致します。

【事務局】

先生からのご指名なので、一つだけ質問をさせていただきます。私が聞いていた中で、行政的な観点も在るわけなんですけれども、先程、質問もでていたのかも知れませんが、今メンバーが17～18名で、現役が半分、OBが半分というメンバーで活動されている。入れ替わりというものは頻繁にあるのでしょうか。

【堅田小学校】

残念ながら、新たに加わるという方は、毎年1～2名というところなんです。何か行事をするのに、新たに引っ張ってこられる方はいらっしゃるのです。会議などの出てきていただける方の登録が常に17～18名ということになっております。

【事務局】

コア（中心）になって活動するのが17～18名。プラス、あとは行事ごとに必要な人を引っ張ってくるという活動の仕方ですよ。行事ごとで引っ張ってくるでは、今日なら、車がいる、氷がいる。そういうのは17～18名のコアになるメンバーの方々に頼っていることなのではないでしょうか。

【堅田小学校】

それぞれのまた、別の組織の個人個人が持っているネットワークを上手に活用させていただくということとなっております。

【事務局】

この「流しそうめん」では参加費200円を取っております。今日の事業、竹を切る、買っているのか無償なのか分かりませんが、事業全体でもお金がかかっているのでしょうか。

200円の中で必要な経費を賄うのか、どこからか何らかの形でお金を持ってきて補填をしているのでしょうか。

【堅田小学校】

今日は、200円を参加費で100名。2万円の活動資金になりますが、その中でそうめんの材料費。その他、そうめん以外でフルーツや野菜なども流したりもするのですが、むしろそれの方がそうめんより高いぐらいのものが入っているんです。その他、材料費等と傷害保険等も、だいたい1万5～6千円程度でおさまるんです。あとホース等も毎年新調するのですけれども、参加者が多いほど定額200円ですから、浮いてくるような格好になります。現在70名～80名であればとんとんになります。越えてくればむしろ浮いてくる。竹藪についても地域の方をお願いしてどうぞ持って行ってくださいという形で無償でいただく。借り上げ代もここから支出するし、スタッフも1人200円の参加費を支払ってそうめんと一緒にいただいています。日当等も一切なしで活動資金もNPOの考え方で、非営利で、次の活動に向けて活かすということです。活動内容によってはスプレーを買ったりする費用に充てます、ペンキ塗りとかの場合ですと、学校の教育振興費の方で買ってもらうこともありますけれども、自己資金でまかなっていただける間はそれでやっております。

【事務局】

基本的に行事をする時には、独立独歩でやる。

【堅田小学校】

でないかと逆にしんどくなってきましたし、責任も生まれてきますし、我々は楽しいことを提供するというので、輪が広がるのではないかとということで、PTAからも一部助成金を出そうかという時もあったのですが、そこまでは良いであろう。PTA事業の一角を担う「お化け屋敷」でガムテープをたくさん使ったから、ガムテープ代だけ出していただく。そういう形の協力はありますけれども活動資金まではいただかないようにしようという方針で行っております。

閉会

【事務局】

本日はいろいろとありがとうございました。私が言うのも変なのですが、ここに来る前に湖南市石部の方を見せていただいて、やはりその地域の方々にだいぶん学校を助けられることもありますし、逆に地域に対して子どもがたくさんいるということで、さっき校長先生も地域の宝とおっしゃっておられまして、それ以上の学校があることによってというのが大きいのかな、時期的に今新聞を賑やかしている再編みたいなお話に直結してくるのかなと思うわけですから

も、学校がそれだけ地域にとって、滋賀県内堅田もそうですし、石部そうですし、草津も南草津に行った時もそうですが、地域地域にとってカラーがちがってきますのでカラーに応じたやり方があると思っております。そう言った中で、どういう形でもっていければ、学校と地域がうまく行っていくのに共通項というものがあるのかどうか調べられたらどうかと思います。最後に聞いたお金の話も切っても切れない話になっていく。あまりお金の話は好きではないのですけれども、避けては通れない話なんで、そういう形のやり方はあるのかなと思います。別途、国の方の学校支援地域本部事業のような形でお金をどんと投入してやっていることもありますし、そういうものに頼らずにやっていくという考え方も当然あります。どっちがどっちで、どちらの方が良いという答えがあるというものでもないので、まさにケースバイケースで、学校の先生で地域の方々でどのように考えていくのかの話だと思います。身の丈にあってやれる範囲で独立独歩でやりますというのはよくある話であります。地域にとって、どのようなやり方がフィットするのかバリエーションはいろいろあると思うので、そういうものをいろいろと追い切れば良いと思っております。

本日は、いろいろとありがとうございました。